

齋藤茂吉記念館 年報

通卷第 39 号
2023(令和5)年度

目 次

はじめに	1
1. 沿 革	2
2. 1年のあゆみ	5
3. 展 示	5
4. 資料収集・管理	7
5. 協力事業	8
6. 出 版	9
7. 普及活動	9
8. 顕彰事業	11
9. 法人運営（公益財団法人の運営体制の整備等）	13
10. 会議・役員・職員	14
11. 入館者状況	17
12. 決算報告（貸借対照表）	18
※ 資 料	19
1. 新規資料一覧	19
2. 新規図書一覧	20

はじめに

皆様には、日頃から当財団の諸事業、運営にあたり特段のご理解とご支援を賜っていることに心から感謝するとともにお礼を申し上げます。

この度、斎藤茂吉記念館年報通巻第39号をお届けいたします。

本誌には、令和5年度における斎藤茂吉記念館の行事、館内展示、諸事業、法人運営等の概要を掲載しております。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行、それに伴い外出自粛も緩和されたことから、コロナ禍以前と同様に全国大会や合同歌会等を開催いたしました。

主なものを紹介しますと展示関係では、特別展として上半期に斎藤茂吉没後70周年特別展「MOKICHIー壮年から晩年までを振り返るー」を開催して壮年から晩年・逝去に至るまでの様子と心情などを表した作品、資料を展示、下半期に「写真と絵画で観る斎藤茂吉」を開催して茂吉が描いた作品、茂吉をモデルにした肖像画・写真等を展示しました。

また、新たに茂吉の親族から寄贈された絵図や茂吉と親交の深かった門人の遺族から寄贈された書簡を展示するなど、常設展示品の整備拡充、重要な資料の収集に努めました。

斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールには、令和5年度も約1万首の応募がありましたが、県外からの応募が増加傾向にあります。

斎藤茂吉記念全国大会は、没後70年を記念する大会として開催、記念行事として著名な歌人を登壇者に迎え「晩年の斎藤茂吉とその短歌」、「斎藤茂吉以後の短歌・歌人たち」と題した二部構成による座談会を行いました。

茂吉忌合同歌会には、百首を越える投稿があり選者による歌評などを行いました。寒い時期にもかかわらず記念館集会室が満室となりました。

公開講座は、短歌初心者を対象に2回開催、秋葉館長に茂吉の魅力などについて講演していただきました。

来館者は、前年度より115人増加して5,967人、残念ながらコロナ禍以前には及ばない状況でありました。

斎藤茂吉記念館は、今後も斎藤茂吉に関する作品、資料等の収集、展示、短歌の普及拡大を目的とした事業などに取組んで参りますので、ご支援をお願い申し上げます。

以上、当該年度の事業概要の報告と日頃からのご協力に感謝申し上げ、年報刊行にあたりましてのご挨拶といたします。

令和6年12月

公益財団法人 斎藤茂吉記念館
代表理事 清野伸昭

1. 沿革

昭和

- 41. 8. 28 斎藤茂吉記念館起工式
- 42. 11. 3 斎藤茂吉記念館竣工式
- 43. 9. 1 上山市立斎藤茂吉記念館開館
- 47. 8. 1 皇太子・同妃両殿下行啓
- 50. 5. 14 第1回斎藤茂吉追慕全国短歌大会（昭和53年から改称、平成12年から斎藤茂吉記念全国大会として継続）
- 51. 8. 12 茂吉短歌ポスト設置
- 53. 10. 収蔵庫増築
- 54. 3. 25 斎藤家の箱根強羅別荘離れ（勉強部屋）の移築工事竣工
- 55. 10. 31 同上屋工事竣工
- 56. 3. 20 斎藤茂吉胸像建立（制作：桜井祐一）5月13日除幕
- 10. 1 斎藤茂吉生誕100年記念として記念館無料開館（57. 5. 31まで）
- 11. 30 ボイラー暖房を電気暖房に切替
- 57. 3. 5 生誕100年記念斎藤茂吉展（東京都新宿区 小田急百貨店）～5. 10
- 5. 13 生誕100年記念斎藤茂吉追慕全国大会を山形県民会館にて開催（山形県・上山市共催）
～5. 15 みゆき公園内南側園地に歌碑（伊藤左千夫・島木赤彦・斎藤茂吉）を建立
- 9. 23 生誕100年記念斎藤茂吉展（滋賀県大津市 西武百貨店）～10. 11
- 10. 29 常陸宮妃殿下お成り
- 58. 4. 14 財団法人斎藤茂吉記念館設立発起人会開催
- 4. 30 財団法人の基本財産として上山市出捐
・不動産：（1）斎藤茂吉記念館（2）箱根山荘の勉強部屋（3）同上屋
・動産：（1）現金10,000,000円
- 5. 23 財団法人斎藤茂吉記念館設立許可
- 5. 31 財団法人設立登記完了
- 8. 1 建物所有権移転登記上山市より財団への引継ぎ事務を完了
- 59. 2. 25 三笠宮憲仁親王殿下お成り
- 7. 8 開館以来入館者累計40万人
- 60. 10. 11 守谷誠二郎理事死去その遺産（東京都港区南青山三丁目435番地所在不動産等）は公正証書による遺言によって財団法人斎藤茂吉記念館が受遺者となる
- 11. 15 守谷誠二郎氏遺贈財産（不動産）移転登記完了
- 62. 6. 15 改修・増築設計監理委託契約締結（株式会社谷口建築設計研究所）
- 10. 17 三笠宮崇仁親王・同妃両殿下お成り
- 11. 1 改修・増築に伴う展示設計監理委託契約締結（株式会社環境設計組織）
- 63. 3. 25 改修・増築工事請負契約締結（株式会社竹中工務店東北支店）
- 4. 1 基金1,500,000,000円追加、計1,510,000,000円とする
- 4. 5 改修・増築工事起工式
- 6. 20 展示用映像ソフト制作委託契約締結（株式会社学習研究社映像ソフト局）
- 63. 11. 14 改修工事のため休館～平成元. 7. 31
- 12. 22 展示ケース工事請負契約締結（株式会社竹中工務店東北支店）

昭和		
63.	12. 24	展示関係工事請負契約締結 (1) 情報装置工事 (株式会社乃村工藝社) (2) 装飾造型工事 (株式会社環境設計組織) (3) 映像音響装置工事 (株式会社学習研究社映像ソフト局)
平成		
元.	4. 25	みゆき公園園路跨線橋新設事業協定 同事業完了 (2. 10. 31 上山市)
	7. 15	改修・増築工事竣工
	8. 1	改修・増築工事竣工式、同祝賀会・開館
	12. 14	駐車場入口の土地建物買収登記完了 (9. 14 売買契約)
	2. 8. 10	園路改修工事 (株式会社竹中工務店東北支店)
	3. 12. 18	アプローチ整備工事請負契約締結 (株式会社竹中工務店東北支店)
	4. 2. 27	皇太子殿下行啓
	5. 1	ロゴタイプ・シンボルマークのデザイン、看板のサインデザイン等の設計委託 (株式会社谷口建築設計研究所)
	7. 1	山形新幹線の開通に伴い「北上ノ山駅」を「茂吉記念館前駅」に改称
	8. 10	身体障害者用通路敷石工事 (柏倉石材工業株式会社)
	9. 19	ロードサイン工事 (株式会社甲子)
	9. 21	集会室展示用パネル設置工事 (株式会社ノールインターナショナルジャパン)
	6. 9. 20	開館以来入館者累計 100 万人
	7. 2. 15	勉強部屋上屋改修工事 (株式会社竹中工務店東北支店)
	5. 31	国道 13 号案内標識板設置に係る斎藤茂吉記念館の表示設置
	10. 7. 3	建物改修工事 (屋根瓦・外壁・軒天井等) ～ 7. 31
	12. 4	上山農業高校跡地フェンス設置工事 (県道側) ～ 12. 22
	11. 5. 6	駐車場自動販売機置場設置工事 ～ 6. 4 進入路改良工事 (県道入口・跨線橋入口) ～ 6. 10
	8. 24	記念館排水桝嵩上改良工事 ～ 9. 6
	12. 10. 6	ドナウエッシンゲン市に斎藤茂吉歌碑建立 (国外建立歌碑第 1 号 / 上山市)
	14. 2. 24	斎藤茂吉没後 50 年 第 35 回記念茂吉忌合同歌会を共催で執行 (寺行事 : 宝泉寺)
	7. 1	記念館建物等の改修工事 (屋根瓦・軒天井等外壁・消防用設備・誘導案内板等) ～ 15. 3. 5
	10. 1	上山市より駐車場等の土地の譲受け登記完了 (平成 14 年 9 月 5 日譲受け)
	12. 19	斎藤茂吉没後 50 周年記念実行委員会設立、構成団体として参画、事業の実施
	15. 7. 7	記念館建物等の改修工事 (駐車場区画線・ラウンジ鉄骨塗装・ラウンジ軒天井・ 空調機・浄化槽エアポンプ・案内看板等) ～ 16. 3. 29
	9. 10	斎藤茂吉没後 50 周年記念事業「斎藤茂吉晩年の居室 (終焉の間)」復元・関連展示 施設「茂吉とその家族たち」設置 ～ 15. 9. 30 (集会室内) 15. 10. 11 完成
	16. 7. 5	記念館建物等の改修工事 (館内設置空調機・電気設備「受電施設」・事務室隣接 ドライエリア部床・収蔵庫内湿度調節設備等) ～ 16. 11. 5 平成
	16. 8. 18	記念館倉庫建設工事 ～ 16. 9. 24 (工事目的物引渡日 16. 9. 29)
	10. 30	2004 最上川さくら回廊事業植栽式 (染井吉野桜 20 本・枝垂桜 30 本植栽)
	18. 6. 16	運営改善推進計画策定委員会設置・要綱の施行

平成	
19. 2. 15	主要地方道「山形上山線」整備に伴う新規案内標識3基設置・既存案内板2基の内容変更工事 ～ 3. 15
11. 14	運営改善推進計画を承認
20. 4. 1	入館料金改定（大人個人・同団体料金、団体適用人数、身体障害者割引新設）
4. 26	展示等音声解説機器（音声ガイドシステム）の導入運用
22. 4. 1	映像ソフトの制作（既存ソフトをデジタルハイビジョン化）
23. 3. 11	午後2時46分 東日本大震災発生（M9.0） 岩手・宮城・福島県沿岸部に大規模な津波により甚大な被害発生 福島第1原子力発電所の事故重なる 館内停電、翌日午後復旧、震災による直接の被害なし
3. 12	大震災により10日間（3.12・3.23～31）臨時休館
3. 24	主要地方道山形上山線改良に伴う案内表示板取外し解体撤去工事（弁天交差点）
24. 4. 1	公益財団法人登記、公益財団法人斎藤茂吉記念館となる 同時に特例民法法人（財団法人斎藤茂吉記念館）解散登記を行う
25. 5. 26	『赤光』発刊100年記念全国短歌コンクール表彰式・記念シンポジウム
7. 23	上山市内断水 ～ 24（影響微小）
8. 21	排水管改良（修繕）工事・雑水槽不具合箇所確認作業
26. 7. 6	集会室「茂吉晩年の居室」展示設備什器修繕 ～ 7. 12
27. 5. 1	AED（自動対外式除細動器）の館内設置
12. 5	館内空調和設備改修設置工事（臨時休館12.5～12.18）
29. 9. 1	斎藤茂吉記念館建物等改修工事期間中における休館～次年度（30.4.26）
30. 3. 27	斎藤茂吉記念館リニューアル工事完成（検査）・3.28（現場確認）
4. 26	斎藤茂吉記念館リニューアル内覧会
4. 27	斎藤茂吉記念館リニューアルオープニングセレモニー（斎藤茂吉記念館玄関入口） ・リニューアル工事竣工祝賀会（日本の宿 古窯）
8. 24	斎藤茂吉記念館リニューアル工事竣工後3ヵ月点検
9. 1	斎藤茂吉記念館開館50周年記念祝賀会（日本の宿 古窯）
令和	
元. 5. 23	リニューアル施工業者による建物・設備等の1年点検と補修工事の実施
8. 3	三笠宮寛仁親王長女・彬子女王殿下館内御視察
2. 4. 3	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館の実施 ～ 4. 15（延長4. 16～5. 6 ・再延長5. 7～5. 31）
12. 22	斎藤茂吉遺骨供養・安置並びに仏壇撥遣式（魂抜き）の実施（宝泉寺）
3. 4. 21	箱根強羅の勉強部屋の上屋内照明（天井8台）改修工事（LED化）の実施
12. 16	自動火災報知設備受信機更新工事の実施 ～ 12. 17
4. 1. 20	収蔵庫・常設展示室ハロン消火設備の容器更新工事の実施
4. 26	一般社団法人日本記念日協会より5月14日を斎藤茂吉記念日とする登録証交付
5. 15	生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会墓前行事に合わせ斎藤茂吉の遺骨を埋骨
6. 31	斎藤茂吉記念館倉庫建設工事完成

2. 1年のあゆみ

令和

- | | |
|---------|--|
| 5. 4. 1 | 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき定款の一部変更（基本財産の変更）に係る届出書を提出
職員の昇給辞令（業務係主事兼学芸員、学芸員、庶務係員）、嘱託職員の採用、任命辞令交付（事務局長、庶務係専門員、専門支援員、業務係） |
| 5.26 | 令和4年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書の实地検査（検査員：山形県観光文化スポーツ部文化スポーツ振興課職員2名） |
| 6. 1 | 令和4年度業務執行監査（館内館長室 監事2名） |
| 6.13 | 第42回理事会（書面決議） |
| 6.27 | 第35回評議員会（上山市役所政策会議室） |
| 7. 2 | 管理規則第3条の規定に基づく休館（7月8日までの7日間） |
| 8. 9 | 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく変更（評議員の変更）に係る届出書を提出 |
| 8.17 | 山形県教育委員会に改正博物館法に基づく博物館登録申請書提出 |
| 10. 3 | 第43回理事会（館内集会室） |
| 10.19 | 改正博物館法に基づく博物館登録申請が「山形第1号」として承認 |
| 10.24 | 第36回評議員会（館内集会室） |
| 11.27 | 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき定款の一部変更（公益目的事業を行うために不可欠な特定財産の件数変更）に係る届出書を提出 |
| 6. 3. 5 | 第44回理事会（館内集会室） |
| 3.26 | 第37回評議員会（館内集会室） |
| 3.31 | 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき令和6年度事業計画・収支予算書等に係る届出書を提出 |

3. 展示

◎常設展示／常設設置

郷土が生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の功績を称えるとともに、茂吉に関連する作品・資料等の収集保存と、多くの輝かしい業績を永く後世に伝え、地域の学芸・文化の発展に寄与するために館内展示内容の拡充に努めた。また、入館者へのサービス向上等を目的に解説機器類の貸出しを行った。

○常設展示 - 地階：常設展示室「茂吉の世界とその作品」

斎藤茂吉の足跡を辿りながら、数々の業績と魅力を伝えるため「自筆書画・原稿・書簡・著書・遺品」などの展示のほか、茂吉を深く理解するためのデジタル機器・グラフィック解説板を活用した展示も行った。ふるさと山形・上山を生涯愛し続けた茂吉の様子をジオラマ等により紹介した。

- * 茂吉世界へのいざない（動画・ジオラマ演出）
- * 茂吉森羅万象（国内・海外・ふるさと／デジタル画像等展示）
- * 茂吉交遊相関図（少年期・青年期・壮年期・医学期・晩年期）
- * 茂吉とふるさと山形・上山（茂吉少年の庭／生家周辺古地図）
- * 茂吉の生涯（ジオラ

マ解説：2点）＊茂吉の作歌姿勢＊医学者茂吉（ジオラマ解説）＊茂吉の書画＊茂吉の業績＊茂吉の交遊＊茂吉の著書＊茂吉の肖像他

○常設映像展示 - 地階：映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

斎藤茂吉の生涯を概観し常設展示資料を補足するための展示映像を定時的に上映（約18分間・デジタルハイビジョン画像／静止画）した。※映像解説資料「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」を室内に配置（常時）

○常設展示 - 1階：集会室「茂吉の晩年そして終焉へ、家族・周辺の人びと」

斎藤茂吉が死去した居間・書斎（晩年の居室）、次男宗吉（北杜夫）旧蔵の茂吉の遺骨保管のための仏壇・骨壺（遺骨埋骨後）・骨箱類、茂吉晩年の様子を示すエピソードと密接にかかわる人々を紹介し関連する資料を展示した。また、2番組の選択の展示映像「父・茂吉の思い出」と「茂吉追憶」の上映、情報検索装置「茂吉アーカイブス・茂吉ライブラリー」を設置して情報提供等を行った。

○常設展示 - 1階：ロビー「茂吉の人となり」「短歌とは／短歌全史」「斎藤茂吉短歌文学賞」「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」

展示室入口（階段・エレベーター通路脇）壁面を利用した展示として、タッチパネル式ディスプレイ（デジタルコンテンツ：斎藤茂吉記念館概説・茂吉全史／年譜・茂吉歌碑マップ）とグラフィックパネル（短歌とは・短歌全史／近代短歌の系譜・斎藤茂吉歌碑：全国・県内の歌碑分布図・建立数）を掲示、壁面メッシュパネルに斎藤茂吉短歌文学賞の事業概要・各回受賞者と、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールの事業概要・令和4年度第20回の最優秀賞受賞作品6首ほか、優秀賞作品53首、入選作品全200首を掲示した。

○常設展示 - 別棟（みゆき公園内）：「箱根山荘の勉強部屋」

神奈川県箱根強羅の斎藤家別荘離れとして、茂吉が毎年夏に原稿等執筆のため滞在した「箱根山荘の勉強部屋」と「移築記念碑」の設置に伴い、人感センサーによる自動音声解説装置（照明連動・グラフィック展示）を運用した。

○常設設置 - 1階：ロビー「キッズサロン」「茂吉なりきり写真館」「茂吉短歌ポスト」等

入館した子どもから大人まで、楽しく遊びながら斎藤茂吉に親しむ空間として、ロビーの一部を利用した「キッズサロン」（茂吉短歌かるた・茂吉パズル・市販の学習玩具・絵本などを配置）、茂吉に変身して記念撮影を行う「なりきり写真館」、短歌の普及として気軽に作歌するための「茂吉短歌ポスト」の館内投稿窓口（自立ポスト）、茂吉自作短歌朗詠を設置した。

○常設設置 - 「展示情報等音声解説機器／音声ガイド」

施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供による入館者のサービス向上等を目的とした機器設備（日本語解説15台・英語訳解説5台の計20台）の有料貸出を行った。また、機器貸出時においてプログラムガイドを利用者に配布した。

※令和5年度の貸出利用台数：128台

◎特別展／企画展示

斎藤茂吉記念館を周知するとともに館内常設展示資料の補足と斎藤茂吉の魅力・作品などに関して、幅広い年齢層から理解を得るための特別展を年度内において2回開催した。さらに、関連印刷物として目録を兼ねたチラシとポスターを作成し、関係者・団体等に配布し本展の広報に努めた。

◎没後 70 周年特別展 - 地階：守谷夫妻記念室 - 「MOKICHI 壮年から晩年までを振り返る」

茂吉没後 70 周年の節目にあたり、斎藤茂吉の壮年から晩年・逝去に至るまでの様子とその時々的心情等を表した作品、資料をはじめ、没後刊行の遺歌集・全集等を通して、歌人・文学者として数々の業績を示した茂吉の姿を捉えその背景等を探求するため開催した。展示資料としては、墨書作品（半切・色紙・短冊等）を中心に、原稿、絵画、書簡、日用品、写真、解説パネル等を展示した。

※展示資料点数：53 点（解説・写真パネル等を含む）

※会期：令和 5 年 4 月 29 日（土）から同年 8 月 31 日（木）まで「101 日間」

※会場：守谷夫妻記念室（地階）

* PR のためチラシ・ポスター等の印刷物作成・配布、ラジオコマーシャル、マスコミ各社への投げ込み、Web サイト掲載などを行った。

◎特別展 - 地階：守谷夫妻記念室「写真と絵画で観る斎藤茂吉」

斎藤茂吉が短歌の創作につながる絵画に関心を寄せ、親しみながら描いた作品をはじめ茂吉をモデルにした肖像写真・肖像画等を介して、茂吉の作歌姿勢、人となりをつまみながらその魅力について理解を深めていただくために開催した。主要展示資料としては、絵画作品、書簡を中心に、画材やカメラ等と解説パネルにより構成・展示した。

※展示資料点数：56 点（解説・写真パネル等を含む）

※会期：令和 5 年 9 月 16 日（土）から令和 6 年 3 月 31 日（日）まで「166 日間」

※会場：守谷夫妻記念室（地階）

* チラシ・ポスター等の印刷物作成・配布、ラジオコマーシャルの実施、ラジオ出演による周知、マスコミ各社に対する周知と Web サイト上における PR を展開した。



特別展「MOKICHI 壮年から晩年までを振り返る」チラシ・ポスター



特別展「写真と絵画で観る斎藤茂吉」チラシ・ポスター

4. 資料収集・管理

◎資料収集

斎藤茂吉を中心とした作品・資料等の収集、寄託品を含む収蔵品を円滑に管理・活用するための調査と整理を行った。

	令和 4 年度・令和 5 年度 / 新規		
* 基本財産収蔵品 (A 評価資料)	2,498 点	2,472 点	+ 26 点
* その他の収蔵資料 (B 評価・C 評価無資料)	3,889 点	3,887 点	+ 2 点
* 除外資料 (工事用記録映像・一般歌集・図書等)	4,315 点	(4,207 点	+ *108 点)
* 新規除外資料 (図書資料のみ)	75 点	(*108 点)	75 点
合計	10,777 点	10,674 点	+ 103 点
* 寄託品資料 《個人短期 : 963 点 / 個人長期 : 171 点 / 上山市 : 2,208 点 / 山形県 : 1 点》			
合計	3,343 点		
収蔵資料数 総計	14,120 点		

5. 協力事業

◎資料貸出・撮影・掲載に関する協力

各種団体の文化活動に対する調査、資料提供等の協力を行った。

○団体・専門機関・出版社等に対する資料の貸与・調査、写真資料掲載等のための協力

- * 写真資料の貸与及び印刷物等の掲載の承認 申請許可件数：6件／点数：67点
- * 収蔵資料の貸与及び展示の承認 申請許可件数：1件／点数：1点

○各種事業への協力（貸出等の点数は上記承認実績に含む）

- * 最上徳内記念館企画展「祈り熊野勸進十界曼荼羅絵解きと信仰展」
令和5年8月11日から同年9月12日まで最上徳内記念館で開催された企画展において、齋藤茂吉が熊野本宮大社（和歌山県）に詣でた際の随筆「遍路」を貸出した。
- * 共同通信「再現日録 大震災の9月」
共同通信社が令和5年8月20日から同年9月20日まで関東大震災100周年企画として配信した「再現日録 大震災の9月」の9月13日配信記事において、ドイツ留学中の齋藤茂吉を取り上げた際に、貸与した写真資料が記事の併用写真として掲載された。
- * 秋田テレビ番組「秋田人物伝」
令和5年10月28日、秋田テレビが放映した「秋田人物伝～ふるさとの画家～」の番組内で平福百穂を取り上げ、その中で茂吉との交友を紹介したもので、貸与した平福百穂のアトリエで撮影された茂吉の写真が放映された。

◎各種団体の文化活動に対する協力

○外部団体（個人）の依頼による齋藤茂吉等関連の調査等の協力

- * 資料持ち込みによる内容調査（年度内随時）
- * 個人・団体発行の冊子・広報紙等への執筆及び情報・資料等の提供
- * 齋藤茂吉歌碑建立に伴う情報提供と資料調査

○各種団体の文化活動等に対する協力

- * 第7回U-39 やましん紙上歌会
山形新聞社主催により、令和5年4月14日から同年9月15日まで、小・中・高校生及び一般を対象に行った短歌作品募集について、応募作品審査、表彰等の後援を行った。
- * 「齋藤茂吉コーナー あかね館 茂吉の母校を訪ねる」の案内リーフレット作成協力
山形市立蔵王第二小学校及び同校教育後援会、同窓会、創立百周年記念事業実行委員会編集発行（令和5年7月27日発行）の案内リーフレット作成に協力した。
- * 齋藤茂吉記念第30回中川町短歌フェスティバル
北海道中川郡中川町教育委員会主催により短歌フェスティバルの一環として行った令和5年6月1日から同年7月20日までの短歌作品募集について、応募作品審査等の後援を行ったほか、同年10月8日に開催された同30周年記念フォーラムにおいて、五十嵐学芸員が記念講演を行った。
- * かみのやま博物館連絡会（上山市内博物館3館）
令和元年10月1日から上山市、上山市教育委員会、上山市観光物産協会、明日のそばを語る会の協力を得て、上山市内にある上山城、蟹仙洞、齋藤茂吉記念館の3館共通入

館券と旧尾形家住宅、武家屋敷三輪家、脇本陣・滝沢屋の団体料金適用入館、明日のそばを語る会加盟店の飲食代割引等の特典を付した「KAMINOYAMA WELCOME PASSPORT」の販売を1冊1,200円で行った。

6. 出版

○「斎藤茂吉記念歌集」第49集

斎藤茂吉記念全国大会事業の関連出版物として、一般投稿作品とジュニア短歌コンクール入選作品を収載し斎藤茂吉生誕日に発行した。

※A5判135頁（令和5年5月14日発行）一般作品：667首（人）・第20回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品：200首、計867首収載

○「2022(令和4)年度斎藤茂吉記念館年報 通巻第38号」(2022/4～2023/3)

1年のあゆみ、諸事業実績、法人運営、入館者状況、決算報告、新規資料一覧等を掲載した。

※A4判20頁（令和5年12月15日発行）

○館報「茂吉記念館だより-没後70周年記念 第26号」

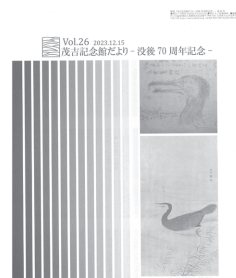
没後70周年座談会、館長随想、講座事業、特別展、収蔵資料紹介、短信（掲示板）等を掲載した。

※A4判14頁（令和5年12月15日発行）

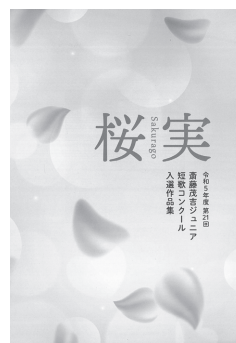
○第21回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集「桜実 Sakurago」

山形県・上山市・上山市教育委員会と共催事業として実施した斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール事業の一環として、最優秀・優秀・入選作品全200首と選考委員の選評・最優秀作品受賞者のことば等を掲載した作品集「令和5年度第21回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集 桜実(Sakurago)」を、県内市町村教育委員会、応募協力学校（小・中・高校）、図書館等に配布した。

※A5判53頁（令和6年3月15日発行）



館報「茂吉記念館だより-没後70周年記念 第26号」



第21回入選作品集「桜実」

7. 普及活動

◎斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール

児童・生徒が、短歌づくりに親しみ、生まれ育った地域を再認識、再発見するとともに、美しい日本語を見直すことで、国語力の向上を通じた文化の創造と振興を図るため、児童・生徒を対象に山形県・上山市・上山市教育委員会とともに主催し実施した。

○令和4年度第20回(前年度)応募作品における最優秀賞作品・優秀賞作品・入選作品の賞状授与

入選作品集「桜実」及び関係機関・報道等において発表した最優秀賞受賞者6人（小・中・高校の各部門2首／計6作品）の表彰式を、



第21回作品募集チラシ

没後 70 周年第 49 回斎藤茂吉記念全国大会開催時（令和 5 年 5 月 14 日／会場：三友エンジニア体育文化センター・エコーホール）に実施した。また、県内外の各賞受賞校（者）に賞状（令和 5 年 5 月 14 日付）を郵送した。

○第 21 回短歌作品募集と選考（作品選歌）

*小・中・高校の児童・生徒を対象とした短歌作品の応募要項を策定（チラシ印刷）して募集（学校・短歌団体単位の応募：1 人 1 首）した。（募集期間：令和 5 年 11 月 10 日から同 6 年 1 月 12 日まで）

※主催者打ち合わせ会：令和 5 年 10 月 20 日（斎藤茂吉記念館）

※応募総数 9,800 首（県内 4,326 首・県外 5,474 首）／応募学校数 128 校（県内 52 校・県外 76 校）

*選考委員による作品選考（第 1 次審査「200 首選考」令和 6 年 1 月 31 日）（第 2 次審査「60 首選考／重複選考により 53 首」同年 2 月 17 日（土））（最終選考「6 首／小・中・高校各 2 首」同年 2 月 17 日）を行うとともに、最終選考後に最優秀賞を発表し、関係機関・報道関係者等に通知した。

※第 1 次選考選者：山形県内在住の歌人 13 氏（山形県歌人クラブ会員）

※第 2 次・最終選考選者：大瀧保・田村元・結城千賀子の 3 氏

*最優秀賞の表彰式は、令和 6 年 5 月 19 日開催予定の第 50 回斎藤茂吉記念全国大会（令和 6 年度事業）において実施するものとし、合わせて優秀賞及び入選を対象とした表彰（賞状の授与）に伴う準備を行った。（最優秀賞・優秀賞・入選の各賞状：令和 6 年 5 月 19 日付）

○最優秀・優秀・入選作品の掲示（斎藤茂吉記念館内ロビー壁面）

令和 4 年度第 20 回の最優秀作品 6 首、優秀作品 47 首、入選作品 147 首の全 200 首を斎藤茂吉記念館内ロビー壁面に掲示した。

◎茂吉短歌ポスト

短歌の普及拡大と啓発のため、通年事業として「短歌ポスト」を設置するとともに、投稿用紙を兼ねた印刷物の配布、投稿作品の選歌（県内主要歌人による選歌「入選 3 首・佳作 5 首」）を行い入選者を公表した。

* 50 首程度を目処に選歌を依頼し、令和 5 年度は 2 回実施した。入選・佳作者には賞状を贈呈、選歌結果を斎藤茂吉記念館ホームページにおいて公開した。

※選歌（投稿）数：第 134 回（大瀧保氏 選）51 首／入選 3 首・佳作 5 首、第 135 回（早坂富美子氏 選）53 首／入選 3 首・佳作 5 首

◎講座等事業

○茂吉入門

令和 4 年度の上山市市報「かみのやま」に連載された、秋葉館長寄稿の「茂吉入門／その魅力と偉大さ」の内容を主なテーマとした公開講座を開催した。斎藤茂吉とその短歌を学ぶ初心者講座として 2 回開催したもので、上山市内在住歌人の協力のもと館長が講師を務め、講座終了後には、館長・学芸員が特別展の展示作品等を解説するギャラリートークを各回共に行った。

＊第1回講座

※期日：令和5年6月11日（日）／定員50人／参加費：無料

※講師：秋葉四郎氏（斎藤茂吉記念館館長・歌人「歩道」発行人）

※参加者数：40人

＊第2回講座

※期日：令和5年11月12日（日）／定員50人／参加費：無料

※講師：秋葉四郎氏（斎藤茂吉記念館館長・歌人「歩道」発行人）

※参加者数：30人

◎その他

○ホームページの開設（各種情報提供）

斎藤茂吉記念館・斎藤茂吉の諸情報の提供、諸事業に関する情報発信等を目的に、公式ホームページを開設、随時情報を更新した。

（URL <https://www.mokichi.or.jp>）

○普及版パンフレット（令和6年度版）作成・配布

前年度に引き続き斎藤茂吉記念館普及版パンフレットを作成して上山市内の宿泊施設、飲食店、観光施設等に配布した。次年度（令和6年度）の年間イベントガイド（年間展示・行事スケジュール等）のほか、施設概要・展示内容、上山市内の詳細なマップ等を掲載した。また、パンフレットに入館者の増加を目的に入館料金割引（大人・学生各100円引、小人50円引）の特典を付した。



普及版パンフレット

8. 顕彰事業

◎斎藤茂吉記念全国大会

本県の生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の生誕を記念し、輝かしい業績の普及及び顕彰、さらに、地域文化の向上と学芸文化の振興のため、没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会を開催するとともに全国大会記念歌集を作成した。さらに、次年度開催予定の第50回斎藤茂吉記念全国大会の事業計画策定及び参加・同歌集第50集投稿募集案内等に取り組んだ。

○没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会の概要

＊令和5年5月14日（日）：墓前行事・斎藤茂吉記念歌集第49集の献上：関係者のみ列席（斎藤家・斎藤茂吉記念全国大会事業主催者・斎藤茂吉記念全国大会運営委員等）／墓参 参列者30人／第34回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式（賞の贈呈・選考経過報告・受賞者挨拶）・第20回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品表彰式（受賞者6人・選考経過報告）・没後70周年記念座談会：第一部「晩年の斎藤茂吉とその短歌」、第二部「斎藤茂吉以後の短歌・歌人たち」（小島ゆかり、中川佐和子、佐佐木頼綱、雁部貞夫の4氏）参加者：180人（会場：三友エンジニア体育文化センター・エコーホール）

○斎藤茂吉記念歌集第49集の発行

一般投稿作品とジュニア短歌コンクール入選作品を収載し、斎藤茂吉生誕日の令和5年5月14日付で発行した。

＊A5判135頁 一般作品：667首（人）・児童作品（第19回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品）：200首、計867首収載

＊歌集編集委員会の開催:令和5年4月6日(斎藤茂吉記念館集会室)
委員5氏出席

◎第50回斎藤茂吉記念全国大会事業計画の策定

＊運営委員会の開催:令和5年9月26日(斎藤茂吉記念館集会室)
「第50回斎藤茂吉記念全国大会日程・同記念歌集第50集募集要項等
について」「運営委員に委嘱状の交付」委員(歌人):大瀧保・鎌上純
子・雁部貞夫・布宮雅昭・皆川二郎の5氏

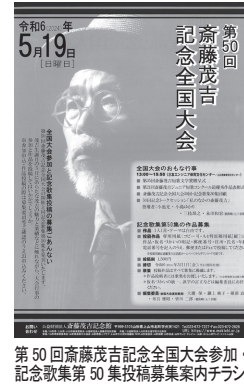
＊第50回斎藤茂吉記念全国大会参加と同記念歌集第50集投稿募集
及び広報/募集期間:令和5年11月から同6年3月1日(投稿募集)・
同6年4月19日(大会参加募集)まで

＊第50回斎藤茂吉記念全国大会:令和6年5月19日(日)墓前行事/宝泉寺:読経・焼香・
記念歌集献上(関係者のみ)、記念行事/会場:三友エンジニア体育文化センター・エコー
ホール:第35回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式、第21回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最
優秀作品表彰式、記念スピーチ「斎藤茂吉記念全国大会50年を顧みる」「斎藤茂吉記念歌
集50年の歩み」(運営委員)、斎藤茂吉記念歌集50年連続出詠者への感謝状贈呈、50回
記念トークセッション「私のなかの斎藤茂吉」登壇者:小池光・小島ゆかり《進行》・三枝
昂之・永田和宏の4氏、

＊参加事前申込者に限り令和6年5月16日から同19日までの4日間、斎藤茂吉記念館の
入館料を無料とした。

＊斎藤茂吉記念歌集第50集

1人1首(題:自由)・投稿作品はすべて記念歌集に掲載・投稿料:有料



◎斎藤茂吉短歌文学賞

斎藤茂吉の功績を記念し、短歌の分野において優れた業績をあげた者に贈られる斎藤茂吉短歌文学賞は、山形県と当財団が創立したもので、第34回の賞の贈呈と第35回の選考を行った。

＊第34回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会時/令和
5年5月14日(日)・会場:三友エンジニア体育文化センター・エコーホール 受賞者:
佐藤通雅氏/作品:歌集『岸边』(角川書店刊)

＊第35回斎藤茂吉短歌文学賞:受賞者:玉井清弘氏/作品:『山水』(短歌研究社刊)

◎第57回茂吉忌合同歌会

斎藤茂吉の顕彰と山形県内歌壇等の振興・交流を図ることなどを目的に茂吉を偲ぶ超結社の歌会として、例年、茂吉の命日(2月25日)に近い日曜日に行っている合同歌会は、令和6年2月25日(日)に開催した。

＊主催者打ち合わせ会(令和5年10月31日/斎藤茂吉記念館)

＊第57回茂吉忌合同歌会/会場:斎藤茂吉記念館集会室

＊内容:歌会(選者講評・特選・入選者表彰等)

＊選者講評:大瀧保・布宮雅昭・山川ひろみの3氏(各選者ごと特選1首・入選2首を選歌)

＊歌会出席者:60人(一般50人・関係者等10人)

- *「第 57 回茂吉忌合同歌会作品集」(令和 6 年 2 月 25 日発行)
- ※ B5 判 8 頁・投稿数：107 首(人)
- *「第 57 回茂吉忌合同歌会入選作品」(令和 6 年 2 月 25 日発行)
- ※ B5 判 2 つ折・特選 3 首、入選 6 首

9. 法人運営(公益財団法人の運営体制の整備等)

◎齋藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく運営・事業

齋藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として、齋藤茂吉記念館開館 50 周年を記念し平成 29 年度において制定した公益財団法人齋藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき、友の会への加入の勧誘・促進と周知等に努めた。

◎齋藤茂吉記念館優待券の交付

齋藤茂吉記念館の公益的運営を円滑に推進するため、関係団体や協力者等を対象として継続的に交付している齋藤茂吉記念館優待券(無料入館)を令和 5 年 12 月 26 日に更新交付した。また、齋藤茂吉記念館に高く貢献(資料の寄贈・寄託者等)している個人、団体等を新たに対象に加えて交付した。

- ※交付対象(者・団体)：333 件(交付期日：令和 5 年 12 月 25 日)
- ※有効期限：令和 7 年 12 月 27 日

◎公益財団法人齋藤茂吉記念館大使の任命

齋藤茂吉及び齋藤茂吉記念館の普及、周知等のために齋藤茂吉の親族を対象として大使を任命した。(任期令和 4 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)

- ※任命対象者(齋藤茂吉の孫)2 氏：齋藤茂太氏長男 齋藤茂一氏・北杜夫氏長女 齋藤由香氏

◎齋藤茂吉の親族等に対する対応

金瓶学校保存会による上山市金瓶宝泉寺の齋藤茂吉墓所及び周辺の整理整備等の活動を支援した。

◎施設管理等の整備拡充事業

○管理規則第 3 条第 1 項に基づく休館及び休館日の活用

7 月の休館日「令和 5 年 7 月 2 日から同月 8 日まで」を利用して常設展示室内の清掃作業と、職員の知識向上のための歌碑見学等の研修を行った。

- ※常設展示室の清掃作業：令和 5 年 7 月 2 日から同月 4 日まで
- ※職員研修：令和 5 年 7 月 5 日(大石田町ほか/職員 4 名)

○齋藤茂吉記念館施設・設備等の管理

- *事務用パソコン 1 台設置(令和 5 年 4 月 1 日)
- *集会室映像用プログラムライマー交換(同年 4 月 27 日)
- *常設展示室入口映像プロジェクター交換(同年 5 月 9 日)
- *常設展示室入口映像プロジェクター修理(同年 6 月 17 日)

- * 常設展示室入口映像プロジェクター電源、回路システム変更（同年 7 月 5 日）
- * 1 階展示室入口壁面タッチパネル式ディスプレイ修繕（令和 5 年 8 月 3 日）
- * 浄化槽ブロワーベルト交換（同年 8 月 28 日）
- * 館内エレベーター設備機器と周辺設備の定期点検
- * 多目的トイレの利用案内、管理
- * その他、建物内外のバリアフリー箇所の案内と管理

◎公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における頒布事業の実施

令和3年度より「上山市ふるさと納税制度」に基づく返礼品に斎藤茂吉記念館館内の頒布品を登録して物販業務の拡大に努めた。また、館内展示物に関連するものを中心とした自主作成の製品の頒布にも努めた。

- * 斎藤茂吉記念館内展示資料等に関連するものを中心とした自主作製頒布：81 種（有料）
- * 見学者に有益である資料について関連業者からの委託頒布：30 種（有料）

10. 会議・役員・職員

◎理事会・評議員会の開催状況

○第 42 回理事会：令和 5 年 6 月 13 日（書面決議）

* 承認事項

承認第 36 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 4 年度事業報告並びに計算書類等について

* 決議事項

議第 122 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館第 35 回評議委員会の招集について

- ※報告事項 (1) 職務執行報告について ア．事業執行状況 イ．入館者状況
- (2) 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 4 年度資金運用状況報告について

○第 35 回評議員会：令和 5 年 6 月 27 日（上山市役所政策会議室）

* 承認事項

承認第 75 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 4 年度事業報告並びに計算書類等について

* 決議事項

議第 68 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館評議員の選任について

- ※報告事項 (1) 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 4 年度事業報告について
- (2) 職務執行報告について ア．事業執行状況 イ．入館者状況
- (3) 公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 4 年度資金運用状況報告について

○第 43 回理事会：令和 5 年 10 月 3 日（斎藤茂吉記念館集会室）

* 決議事項

議第 123 号：（公財）斎藤茂吉記念館第 36 回評議員会の招集について

- ※報告事項 (1) 職務執行報告について ア．事業執行状況 イ．入館者状況
- (2) 公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告について

○第 36 回評議員会：令和 5 年 10 月 24 日（斎藤茂吉記念館集会室）

* 決議事項

議第 69 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部改正について

※報告事項 (1) 職務執行報告について ア．事業執行状況 イ．入館者状況
(2) 公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告について

○第 44 回理事会：令和 6 年 3 月 5 日（斎藤茂吉記念館集会室）

*承認事項

承認第 37 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 6 年度事業計画並びに収支予算について

承認第 38 号：基本財産（公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの）の除外について

承認第 39 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 6 年度資金運用計画について

*決議事項

議第 124 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館第 37 回評議員会の招集について

議第 125 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館慶弔規定の制定について

議第 126 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規程の給料表改定について

議第 127 号：重要な使用人の選任について

※報告事項：職務執行報告について ア．事業執行状況 イ．入館者状況

○第 37 回評議員会：令和 6 年 3 月 26 日（斎藤茂吉記念館集会室）

*承認事項

承認第 76 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 6 年度事業計画並びに収支予算について

承認第 77 号：基本財産（公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの）の除外について

承認第 78 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館令和 6 年度資金運用計画について

承認第 79 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館慶弔規程の制定について

承認第 80 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規程の給料表改定について

*決議事項

議第 70 号：公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部変更について

※報告事項：職務執行報告について ア．事業執行状況 イ．入館者状況

◎役員 の 就任状況（敬称略）

○理事

代表理事	清	野	伸	昭
理 事	晋	道	純	一
理 事	佐	藤	信	幸
理 事	平	井	康	博
理 事	五	十	嵐	庄
理 事	土	屋		講
業務執行理事	會	田	啓	一

○監事

監事	川合賢助
監事	井上真一

○評議員

評議員	横戸長兵衛 (令和5年6月27日辞任)
評議員	山本幸靖 (令和5年6月27日就任)
評議員	長澤長右衛門 (令和5年6月27日辞任)
評議員	大沢芳朋 (令和5年6月27日就任)
評議員	横戸隆
評議員	大瀧保
評議員	山川庸久
評議員	後藤恒裕
評議員	松本佳子

◎職員構成の状況

館長 (事業等業務総括)	秋葉四郎
事務局長 (兼業務執行理事 / 管理運営事務総括)	會田啓一
業務係 主事兼学芸員	五十嵐善隆
業務係 学芸員	佐藤結子
業務係 専門支援員 (非常勤)	村尾二郎
庶務係 専門員 (嘱託)	遠藤星子
庶務係 事務員	佐藤康平

11. 入館者状況

◎月別入館者状況

(単位:人)

		令和5年 /4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和6年 /1月	2月	3月	合計
個人	大人	279	392	283	186	320	248	327	257	94	82	103	156	2,727
	学生	10	29	12	6	22	11	4	19	4	3	22	21	163
	小人	9	22	6	7	19	6		7	3	2	3	8	92
	計	298	443	301	199	361	265	331	283	101	87	128	185	2,982
団体	大人	21	82	168	57	34	135	169	35	19		22		742
	学生					18		5						23
	小人							225						225
	計	21	82	168	57	52	135	399	35	19		22		990
減額・身障者・免除・招待	大人	130	266	186	124	239	168	249	197	69	62	118	101	1,909
	学生	2	3	3	3	7	2	1	5	1	1	1		29
	小人	3	15			10	2	1	4	1	3			39
	料金変更	3	4		4		3		4					18
	計	138	288	189	131	256	175	251	210	71	66	119	101	1,995
合計	457	813	658	387	669	575	981	528	191	153	269	286	5,967	
1日平均	18	31	25	18	26	22	36	21	8	6	11	11	20	
開館日数	26	26	26	21	26	26	27	25	23	24	25	27	302	

◎前年度対比表

(単位:人)

	令和5年度	令和4年度	増減	対比
4月	457	466	△ 9	98.1%
5月	813	772	41	105.3%
6月	658	605	53	108.8%
7月	387	349	38	110.9%
8月	669	621	48	107.7%
9月	575	631	△ 56	91.1%
10月	981	656	325	149.5%
11月	528	681	△ 153	77.5%
12月	191	275	△ 84	69.5%
1月	153	110	43	139.1%
2月	269	339	△ 70	79.4%
3月	286	347	△ 61	82.4%
合計	5,967	5,852	115	102.0%

○概要

- *入館者数：5,967人
- *入館収入：2,943,401円

○休館日

- *毎週水曜日
- *7月2日～7月8日まで
- *12月28日～1月3日まで
- ※管理規則に基づく休館

12. 決算報告

◎貸借対照表（令和6年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,887,301	716,623	5,170,678
未収入金	245,706	229,680	16,026
棚卸資産	3,255,681	3,501,731	△ 246,050
貯蔵品	48,601	22,776	25,825
流動資産合計	9,437,289	4,470,810	4,966,479
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物等(基)	649,533,449	684,802,506	△ 35,269,057
土地（基）	218,785,300	218,785,300	0
収蔵品	256,432,515	255,590,515	842,000
基本財産有価証券	330,000,000	330,000,000	0
基本財産定期預金	230,000,000	265,000,000	△ 35,000,000
基本財産合計	1,684,751,264	1,754,178,321	△ 69,427,057
(2) 特定資産			
定期預金(資産取得資金)	4,000,000	0	4,000,000
定期預金(退職給与引当金)	3,232,241	3,232,241	0
普通預金(友の会・活動支援募金)	0	0	0
特定資産合計	7,232,241	3,232,241	4,000,000
(3) その他固定資産			
建物（運）	2,764,511	2,988,936	△ 224,425
什器備品	1,242,700	2,667,762	△ 1,425,062
構築物	6,523,719	8,301,410	△ 1,777,691
機械装置	423,413	635,752	△ 212,339
収蔵品	11,022,589	11,017,589	5,000
土地（運）	59,879,650	59,879,650	0
電話加入権	738,510	738,510	0
ソフトウェア	1,119,132	0	1,119,132
運用財産定期預金	41,000,000	45,000,000	△ 4,000,000
その他の固定資産合計	124,714,224	131,229,609	△ 6,515,385
固定資産合計	1,816,697,729	1,888,640,171	△ 71,942,442
資産合計	1,826,135,018	1,893,110,981	△ 66,975,963
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,172,453	3,884,683	△ 712,230
預り金	386,043	455,373	△ 69,330
流動負債合計	3,558,496	4,340,056	△ 781,560
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,232,241	3,232,241	0
固定負債合計	3,232,241	3,232,241	0
負債合計	6,790,737	7,572,297	△ 781,560
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間補助金	5,842,500	5,658,500	184,000
寄付金	0	39,000	△ 39,000
募金	0	145,000	△ 145,000
指定正味財産合計	5,842,500	5,842,500	0
2. 一般正味財産	1,813,501,781	1,879,696,184	△ 66,194,403
正味財産合計	1,819,344,281	1,885,538,684	△ 66,194,403
負債及び正味財産合計	1,826,135,018	1,893,110,981	△ 66,975,963

※資料／ 1. 新規資料一覧 2. 新規図書一覧

1. 新規資料一覧 (基本財産収蔵品)

作者名	資 料 内 容	材質・技法	形 状	員数
○短冊				
斎藤茂吉	うごきみし夜のしら雲の無くなりて高野の山に月てりわたる	紙本墨書	短冊/額装	1
斎藤茂吉	むらぎもの心はりつめしましくは幻覚をもつをとどこにたいす	紙本墨書	短冊	1
○書簡				
斎藤茂吉	黒沼みはる宛 昭和21年10月27日(消印)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	黒沼みはる宛 昭和22年4月9日(消印)	ペン	葉書	1
斎藤茂吉	黒沼みはる宛 昭和22年11月17日(消印:昭22.11.18)	ペン	葉書	1
斎藤茂吉	黒沼みはる宛 昭和23年3月22日(消印:昭和23.3.23)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	黒沼みはる宛 昭和23年10月20日(消印:昭和23.10.21)	墨書	葉書	1
斎藤茂吉	黒沼みはる宛 (消印:□.□.19)	ペン	葉書	1
斎藤茂吉	鈴木三重吉宛 大正3年8月2日	墨書	封書、東京府巢鴨病院用箋1枚	1
斎藤茂吉	鈴木三重吉宛 大正3年9月6日	墨書	封書、無地白紙1枚	1
○斎藤茂吉／写真・旧蔵品				
	斎藤茂吉肖像署名入(昭和15年帝国学士院賞受賞記念)	写真		1
	一尺物差し裏面(墨書):「昭和二十三年 茂吉山人用」「高島屋九円」	竹		1
○茂吉以外／色紙・懐紙				
土屋文明	棗あり花さく青たごの一樹ありあつまるは僧ともただの人とも見ゆ	墨書	色紙/額装	1
土屋文明	老人を先にする慣はし今もありやそんなこと知らぬと老人答ふ	墨書	色紙/額装	1
土屋文明	待ち待ちて幾年のことま熊野の中辺路の桜咲くも咲かぬも	墨書	色紙/額装	1
土屋文明	親しみ来し陰山ここに終る見えて雲とも煙とも黄河の来る方	墨書	色紙/額装	1
土屋文明	上品も下生の印も我等知らず九体金色の前をさまよふ	墨書	色紙/額装	1
土屋文明	手の見ゆる間いそむ夕方の農の心をわれもすこし知る	墨書	色紙/額装	1
土屋文明	山の木群青吹くはあらしの如くなれど蘆の茂りはたをたをと吹く	墨書	色紙/額装	1
土屋文明	一年に我が飲まむ菓草束ねたり土には散れる露の花びら	墨書	色紙/額装	1
中村憲吉	天にひびく渦の鳴門と恋ひしかどただ海なかの川にしありけり	墨書	色紙/額装	1
土屋文明	龍在に牛のわらちを中にして山人と語る三十年のすぎゆき 今日の友等我より若いつもりらし木をこぎ草を引き山を楽しむ 過ぎし年の吉野を思ひ出で記す五十四年五月十六日広澤近くにて	墨書	懐紙/額装	1
○茂吉以外／絵図				
平福百穂	富貴草	絹本淡彩	色紙/額装	1
平福百穂	千鳥	絹本淡彩	色紙/額装	1
平福百穂	清溪白雲	絹本淡彩	色紙/額装	1
平福百穂	松島	絹本淡彩	色紙/額装	1
○茂吉以外／旧蔵本・書簡				
斎藤茂太	手帳 全61冊 昭和20(1945)年から平成18(2006)年まで			1
土屋文明	岡田真宛 昭和54年(1979)10月1日	墨書	封書(便箋2枚)/額	1

2. 新規図書一覧

著者・編集名	図 書 名	著者・編集名	図 書 名
澤本 佳歩	歌集 カインの祈り	玉井 清弘	歌集 山水
梅津 純子	歌集 白き川	佐藤 伴子	歌集 ソースはロールシャツハ風
根岸 桂子	歌集 風の韻かひ	睦月 郁	歌集 Dance with the invisibles
玉城 洋子	歌集 櫛笥 -母-	安藤 直彦	安藤直彦歌集
天童短歌会年刊歌集編集委員会	年刊歌集 第五十九集	久々湊 盈子	歌集 非在の星
川口 慈子	歌集 Heel	沖 荒生	歌集 見出された詩 続コロナ禍の記憶
藤原 龍一郎	寺山修司 母の歌、斧の歌、そして父の碑	光野 律子	歌集 ミントコンディション
秋山 佐和子	歌集 西方の樹	鹿井 いつ子	歌集 夢
藤岡 武雄	歌集 天空の夢	俵 万智	歌集 アボカドの種
森川 多佳子	歌集 そこへゆくまで	清水 春美	歌集 風のまにまに
中西 洋子	流転の月 柳原白蓮ノート	竹柏会	心の花 1500号記念号
東野 登美子	歌集 ひすとりのい	佐佐木信綱研究会	佐佐木信綱研究 第十四号
真中 朋久	歌集 cineres	森 朝男	続 古歌に尋ねよ
金戸 紀美子	歌集 直心-ひたごころ	花笠 海月	チメイタンカ
小林 恵子	歌集 初音の森	時田 則雄	歌集 売買川
藤島 鉄俊	歌集 前途	藤岡 武雄	藤岡武雄短歌選集
實藤 恒子	歌集 火星の地図	さいとうなおこ	さいとうなおこ歌集
大山 敏夫	冬雷二〇二二作品年鑑・合同歌集	三ヶ島 霞子	新版 三ヶ島霞子全歌集
三井 ゆき	歌集 水平線	源 陽子	歌集 百花蜜のかげりに
山形県歌人クラブ年刊歌集編集委員会	年刊歌集 第四十一集 二〇二三年度版	横山 美保子	歌集 ひかりの梯子
坂井 修一	歌集 塗中騒騒	住谷 眞	歌集 SADよこんにちは
公益財団法人沼津牧水会	牧水 鳥	池村 真理	歌集 雲ふりしむ
横山 季由	歌集 唐鬼	富田 睦子	歌集 声は霧雨
五所 美子	歌集 風師	日本歌人クラブ	日本歌人クラブアンソロジー2023現代万葉集
塔短歌会・東北	4399日東日本大震災から十二年を詠む	兵庫県歌人クラブ	年刊歌集 第63集
阿部 松子	遺歌集 白き残像	黄雞社	歌集 饗宴 第七十五巻記念
田辺 昌子	歌集 風の通い路	池田 功	歌集 ゲルマンの道
渡辺 幸一	歌集 プロパガンダ史	鳥居 あけみ	歌集 ふだう一房
雁部 貞夫	歌集 鮎	村上 美江	歌集 さみどり
柴田 典昭	歌集 野守の鏡	黒木 三千代	歌集 草の譜
浜名 理香	歌集 くさかむり	三井 修	歌集 天使領
鈴木 路得子	歌集 ランボオ+ラディゲの齡	岡田 恭子	歌集 しずかだね
木村 寛子	歌集 木蓮坂	青木 義脩	歌集 梅檀
沼沢 修	歌集 秋のひかり	狩集 日出男	歌集 夕光
三枝 昂之	佐佐木信綱と短歌の百年	阪森 郁代	阪森郁代自撰歌集 月の余韻
三枝 むつみ	歌集 ひかりの作法	監物 昌美	歌集 秋深みたり
大友 圓吉	歌集 柘榴	加藤 啓	歌集 梅花藻
柴田 典昭	歌集 半日の閑		

2023 (令和 5) 年度
齋藤茂吉記念館年報
— 通巻第 39 号 —
[2023/4 ~ 2024/3]

2024 (令和6) 年 12 月 15 日発行

編集
発行



公益財団法人
齋藤茂吉記念館

〒999-3101 山形県上山市北町字弁天1421
tel.023-672-7227[代]
fax.023-672-2626

印刷 藤庄印刷株式会社
製本 上山市蔵王の森7
